



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社ウィルズ
代表者名 代表取締役社長 CEO 杉本 光生
(コード番号: 4482 東証グロース)
問合せ先 専務取締役 CFO 蓮本 泰之
(TEL 03-6435-8151)

通期連結業績予想と実績値との差異（上方修正）ならびに 特別損失（減損損失）及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

2023年2月14日に公表した2023年12月期通期連結業績予想と本日公表の「2023年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」実績値に差異（上方修正）が生じたこと、ならびに特別損失（減損損失）及び法人税等調整額を計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期通期連結業績予想と実績値の差異について

(1) 2023年12月期通期連結業績予想と実績値の差異（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,049	百万円 750	百万円 745	百万円 497	円 銭 23.83
実績値 (B)	4,480	914	911	506	24.39
増減額 (B - A)	431	164	166	9	—
増減率 (%)	10.6	21.8	22.2	1.8	—
(参考)前期実績 2022年12月期	3,816	702	693	417	21.03

(2) 差異の理由

2023年12月期通期連結業績については、プレミアム優待倶楽部の契約社数は前期末から10社純増し、ポイント売上増加に伴い顧客単価が上昇したことに加え、ESGソリューションはTCFD、SDGsなどを背景に受注が堅調に推移し売上増加したことで、当初予想より売上高が上回る見込みとなりました。

また、利益面については、売上増加に伴い営業利益、経常利益は予想を上回りましたが、当期純利益においては、「後記2. 特別損失（減損損失）の計上について」のとおり、自社利用ソフトウェアの減損に伴う特

別損失を計上したため、当初予想のとおりとなりました。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

当社は、2005年11月から提供しているIR活動支援ツール「IR-navi」の大幅な機能拡充を目指し、2020年からシステム開発を進めてまいりました。しかしながら、搭載予定の機能を全て盛り込んだ新バージョンを一度にリリースすることが困難と判断し、段階的に新機能をリリースする方針を決定いたしました。

これにより、2024年3月に第一段階の機能をリリースする予定となりましたが、システム開発投資により計上した一部のソフトウェア資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2023年12月期決算において減損損失154百万円を計上することといたしました。

なお、新バージョンの「IR-navi」は第一段階のリリース後もシステム開発を進め、適宜リリースして行く予定であります。

3. 法人税等調整額（益）の計上について

上記の減損損失の計上に伴い、将来の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性がみとめられる部分について繰延税金資産を計上したことで、2023年12月決算において法人税等調整額（益）49百万円を計上いたしました。

4. 当社連結業績に与える影響について

上記の特別損失及び法人税等調整額の計上につきましては、本日公表の「2023年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上